

高速道路機構の主な課題と取組

1. ミッション

- 国民負担の軽減を図るとともに、会社による高速道路事業の円滑な実施への支援

⇒デット・マネジメントの最適化（債務の早期・確実な返済への筋道付け）、アセット・マネジメントの最適化（道路資産の適切な保有・貸付け）

2. 直面する事業環境の変化

●デット・マネジメント

- ・借換需要の大幅減少により、債務引受額のバラツキによる影響が拡大

⇒年度毎に資金余剰と多額の資金調達需要が繰返し発生

- ・国策としての国土強靱化政策に基づく累次の事業要請への対応のための必要資金確保と、適切な債務管理を両立する必要性が増大

●アセット・マネジメント

- ・自然災害の激甚化・頻発化や加速するインフラの老朽化等による事業環境の不確実性が増大

⇒上記資金収支の変動が更に拡大

- ・経済・金融ボラティリティの上昇、資材費・労務費等の高騰によるコストが増大
- ・国の政策として推進するカーボンニュートラルやデジタル化に関する取組を高速道路全体で具体化する必要性が増大

3. 主要な課題と取組

(1)デット・マネジメント（債務の早期・確実な返済）

●資金調達の最適化、年度別債務の平準化

- ・長期的な資金収支を見通し、国民負担の最小化の観点から、将来の借換えに伴う金利上昇リスクの軽減や効率的な債務返済を継続的に行うための調達年限等を設定
- ・会社と一体となった発行債券の年限調整、資産帰属計画の活用等により、年度別債務を平準化する資金マネジメントの推進
- ・投資家の維持拡大により、資金調達力を維持

(2)アセット・マネジメント（必要な道路整備と適正な管理水準の保持への支援）

●事業管理の着実な実施

- ・管理水準の向上を図るため、実地確認、アウトカム等を通じて得た情報を、会社の管理等に適切に反映されるよう共有
- ・インセンティブ助成制度を適切に運用
- ・システム化推進等により、権限代行等を効果的・効率的に実施
- ・鉄道施設の管理、鉄道事業者への貸付け、利用料徴収等に対応

●国民負担の軽減に資する資産の有効活用

- ・連結、入札占用を適正・効果的に実施
- ・未利用地処分、不法占用解消に向けた取組を継続的に実施

●高速道路の更なる進化・改良の推進

- ・SA・PAの駐車容量・効率の向上等により、大型車長時間駐車に対応
- ・EV充電器、水素ステーション等の整備を促進
- ・自動運転等の高速道路を取り巻く技術の進展に対応

(3)課題遂行を支える組織基盤の強化

●組織能力向上、人材力強化及び業務運営の効率化

- ・課題を可視化したアクションの策定・実行により、組織能力を持続的に向上させるとともに、業務運営を効率化
- ・スキル把握、人材育成及び人事評価の継続的な実施により、人材力を強化
- ・コンプライアンスを徹底

●デジタル化の推進、勤務環境の整備等

- ・情報システムに係る外部専門家を最高情報責任者補佐として位置付けたPMO体制を構築し、機構の情報システム・セキュリティ対策を強化
- ・リモートワーク、WEB会議の積極活用により、デジタル化・ワークライフバランスを推進
- ・業務の効率的な執行

●債務返済の確実性と道路資産の適切な保有・貸付けを担保する協定締結・変更

- ・債務の返済等が確実かつ円滑に行われることの担保と、強靱で信頼性のあるネットワークの構築・機能維持や高速道路の管理が適正かつ効率的に行われるような投資規模の確保を両立する協定を締結・変更